

長野県木曾青峰高等学校PTA会報

大地の樹

Daichinoki



CONTENTS >>

表紙：十周年&蒼陵祭
 2-3P：PTA会長、学校長挨拶ほか
 4-5P：クラス担任のご紹介
 6-7P：部活動、特別クラブほか報告
 裏表紙：創立十周年記念行事関係
 編集後記

2008

2009

2008

2009

ごあいさつ

ごあいさつ

PTA会長 大蔵 国広



今年度、PTA会長を務めさせていただく大蔵です。

本年は、木曽青峰高校創立十年という節目の年となりました。創立記念行事も行われます。

私の3人の子供も、青峰高校で、勉強、クラブ活動、数々の行事など、充実した生活を送り、1人は3年前に卒業、いまだに、かつて一緒にがんばってきた友だちと、ハンドボール部に顔を出しています。現在は、2人の息子が在学しています。

私事ではありますが、南木曽ろくろ細工で木地師という、木に携わる仕事であります。木曽という自然に恵まれ、木に囲まれたすばらしい環境の中で、伝統のろくろに誇りを持ち、木目の美しさ、ぬくもり、楽しさといった木のいろんな表情を一人でも多くの人に知ってもらいたい。また、伝統的なものは大切にしつつ、現代にそった新しいものづくりにも挑戦していきたいと考えています。そして、木曽谷の未来を託す人材の育成と、木の文化の継承のため、いろんな場で応援していきたいと思ひます。

急激に進む少子化の中で、先生方はじめ、PTAの皆さま、地域の皆さま、同窓会の方々のお力をお借りしながら、子供たちが安心して、充実した学校生活を送れるような環境づくりをしていきたいと思ひますので、今後ご協力のほど、よろしくお願ひします。

お礼とともに

学校長 横野 秀昭



昨年度、本校PTAは中信さらには県の会長校ということで、西野孝章前PTA会長には大変お骨折りをいただきました。お忙しい身でありながら、時には仕事を休んでまで、県内のみならず、東京・大阪等の会議へ出席してくださいました。本年6月8日(休)の県高P連総会では感謝状が授与されましたし、8月24日(休)の全国大会でも表彰され、言葉に尽くせぬ感謝の気持ちでいっぱいです。会長を支えていただいた他の役員の皆様にもお礼申し上げます。また、今年度の大蔵新会長他役員の皆様には1年間よろしくお願ひいたします。

そして、本年度本校の創立十周年記念事業を遂行するにあたって、保護者の皆様には資金面でのご協力をお願いすることになり、学校として大変ありがたく、心より感謝申し上げます。

残りの紙面で、高校生のすばらしさを感じたできごとを紹介させていただきます。

今年度、私は高体連のソフトボール専門部の部長となりました。部長といっても、春と秋の県大会での開閉会の際のあいさつが主な仕事です。部員不足で本校が出場せず、どこか役目でいったような県総体女子決勝は印象に残るものでした。

北信同士の決勝は、北信予選2位の篠ノ井が同じく1位の長野商業を1:0で破り優勝、2年連続のインターハイ出場を決めました。その前3年間はこの2校が交互に全国へ行っているという好敵手同士です。この試合でも長商が先取点を入れるチャンスを篠ノ井の外野手が好返球で阻んだこと、お互い何度もチャンスとピンチがありながら、鍛えられた守備陣が鉄壁の守りを続けたことで最後までしびれる展開となりました。じーんときたのは部員9名のチームが部員17名の相手に勝ち抜いたことです。これは後で聞いたことですが、9名の内1名は1年生のマネージャーだったのです。

どこの学校も部によっては部員不足に悩む昨今、数ではないということを我々に教えてくれました。

平成29年度 木曽青峰高等学校PTA役員名簿

役員 (理事)				
会長	大蔵 国広	学校行事委員会	委員長	中島 博子
副会長	奥谷 博文		副委員長	下出 尚子
	古坂 貴幸	文化委員会	委員長	起 靖子
	横野 秀昭		副委員長	小瀬木明子
		学校環境委員会	委員長	織田 春生
			副委員長	木下みちる

PTA総会報告

今年度のPTA総会は4月22日に実施されました。全会員数505名中、総会出席者数135名、委任状328名で、合計463名でした。議長に児野政明さん副議長に小川淳さんが選出され、すべての議案が原案通り可決されました。平成28年度の事業報告、決算報告が承認され、平成29年度の役員、事業計画、予算および創立十周年記念事業への協力が決定されました。

会則改正は、役員定数の変更です。学級数の減少により、学級理事が1名減員となります。それに伴い学校環境委員会の保護者理事が4名に変更されました。

学年PTA紹介

1学年

この4月に146名の新入生を迎え、2ヶ月ほど経ちました。学年全体としては、高校生活に慣れ、落ち着いた生活をしています。ほとんどの生徒がクラブ活動を行っており、3年生が引退し、1・2年生が中心となっているクラブも多くなりました。

一方でクラブ中心の生活となってしまう、家庭学習の時間がとれなくなってしまうことも心配です。学習活動とクラブ活動のバランスが重要です。

これからも引き続き、担任と生徒のコミュニケーションを密にし、よりよい学校生活を送ることができるよう努力していきたいと考えています。
(学年主任 下平哲也)

2学年

会場には多くの保護者の皆様にお集まりいただき、学年PTAを開催することができました。

学年職員の紹介、4月からスタートした学年の子どもたちの様子、進路指導、学習指導、生徒指導、修学旅行について各担当よりお話しさせていただきました。また、昨年度の学年会計報告がされ、新年度学年予算案とともに承認をしていただきました。その後、各クラスに分かれての学級PTAが開かれました。

今後とも子どもたちの高校生活が一層充実したものとなりますようご協力とご理解をお願い申し上げます。
(学年主任 田中 宏)

3学年

4月22日のPTA総会では、ご多忙中にもかかわらず大変多くの保護者の皆様にご参加いただき誠に有り難うございました。学年PTAにおきましては、例年のように、前年度学年会計監査、今年度予算の承認、PTA学年係紹介、生徒の学校生活の様子、進路指導部、生活指導部、学習指導部、など各部学年担当者からお話をさせていただきました。次に、進学・就職の希望者別分散会で進路指導担当者から細部に渡った説明を行い、そして、学級PTAと会が進みました。本年は個々の進路を実現する大切な年であります。保護者の皆様の御協力をいただき、全ての生徒の進路希望が叶うよう、引き続き取り組んでいく所存です。
(学年主任 古畑良一)

定時制

水無月9日のPTA懇談会には、週末のご多忙中にも拘わらず、多くの保護者の方々の参加を頂き有難う御座いました。

定時制課程では、新たに1年生の4名を迎え在籍生徒は丁度20名となりました。ここ数年、生活指導上の問題も起こること無く落ち着いた高校生活をおくっています。

7割以上の生徒が、昼間働きながら夜学んでいます。社会という大きな書物から学ぼうとする目的意識の現れとも言えます。

今後も生徒の気持ちに寄り添いながら、保護者の方々とパイプを太くし、生徒のよりよい成長のために努めて参りたいと考えていますので、引き続き保護者の皆様のご理解、ご協力の程を宜しくお願い申し上げます。
(定時制PTA係 神田一孝)

緊急時Eメール配信システムの登録について

教務係

～保護者の皆さん 携帯メール連絡網へ登録を～

より早く確実に情報をお伝えするため、電子メールによる連絡網への登録をお願いします。

- ※中電「きずなネット」サービスを利用します。
- ※登録には、インターネット契約をした携帯電話・スマートフォンが必要です。
- ※登録時に名前を登録しますが、この情報は本校で管理し、登録者の確認等に使用します。
- ※保護者の連絡網は一世帯複数の登録も可能です。
- ※連絡網への登録、使用は無料です。(メール送受信など通常の通信料はかかりません)
- ※学校からの配信専用です。学校への返信、登録者相互の送受信はできません。

登録方法(保護者用)

件名・本文は不要。右記のアドレスに送信してください。30秒ほどで返信が来ます。その指示に従って入力し登録してください。返信が届かない場合「受信拒否」の機能が働いていますので、解除する必要があります。

登録に関しては、中部電力株式会社 きずなネット登録案内(0120)342-089までお問い合わせください。

全日制保護者用

m.ksirhs.ks.ah@cep.jp



定時制保護者用

m.ksirhs.ks.ph@cep.jp



※QRコードからのメール作成も可能です。

部活動大会結果

運動系クラブ

男子バスケットボール部

中信高等学校総合体育大会

1回戦 木曽青峰76-67都市大塩尻
2回戦 木曽青峰54-87大町岳陽

女子バスケットボール部

中信高等学校総合体育大会

1回戦 木曽青峰49-81松本美須ヶヶ丘

男子バレーボール部

中信高等学校総合体育大会

2回戦 木曽青峰2-0南安曇農業
3回戦 木曽青峰0-2大町岳陽
順位決定戦
木曽青峰 2-0 松本蟻ヶ崎
木曽青峰 1-2 松商学園

第6位

長野県高等学校総合体育大会

トーナメント1回戦
木曽青峰 1-2 長野工業



女子バレーボール部

中信高等学校総合体育大会

1回戦 木曽青峰2-0明科
2回戦 木曽青峰0-2塩尻志学園

卓球部

中信高等学校総合体育大会

男子学校対抗
1回戦 木曽青峰 3-0 エクセラン
2回戦 木曽青峰 1-3 松本蟻ヶ崎
男子ダブルス
3-2 中村颯斗・2-4 山崎 壮
4回戦進出
3-4 児野 稜・3-3 須山和俊
3回戦進出
3-1 田中 大・3-2 牧 爽馬
3回戦進出
2-3 矢野冬樹・2-4林 亮介
2回戦進出
男子シングルス (3回戦以上進出者)
2-4 山崎 壮 4回戦進出
3-4 児野 稜、3-3 須山和俊、
3-2 中村颯斗 3回戦進出
女子ダブルス
3-2 伊藤 愛・3-2 児野里紗
2回戦進出
女子シングルス
3-2 伊藤 愛 2回戦進出

相撲部

長野県高等学校総合体育大会

団体戦 木曽青峰2-3更級農業
2位 選抜高校相撲十和田大会出場
個人戦 1-4 水上竹善2位
3-3 柴原飛鳥3位
全国高等学校総合体育大会出場
高等学校相撲金沢大会兼北信越高等
学校相撲選手権大会

(団体戦)
3-3 百瀬夕唄 3-3 柴原飛鳥
2-3 奥野博仁 2-4 倉田 諭
1-4 水上竹善
予選1回戦
木曽青峰 0-3 足立新田 (東京)
予選2回戦
木曽青峰 1-2 近大附属 (大阪)
予選3回戦
木曽青峰 3-0 小松商業 (石川)
国民体育大会長野県予選
2位1-4 水上竹善 3位3-3 柴原飛鳥
5位2-4 倉田 諭 7位2-3 奥野博仁
北信越相撲選手権大会出場
水上 柴原 倉田
国民体育大会出場
水上 柴原 倉田 奥野

バドミントン部

中信高等学校総合体育大会

男子学校対抗
1回戦 木曽青峰 3-0 エクセラン
2回戦 木曽青峰 0-3 蘇南
女子学校対抗
1回戦 木曽青峰 0-3 穂高商業
個人戦 (一勝以上)
男子ダブルス
3-1 向井和樹・3-3 坪田知大
3-1 下牧 舜・2-4 下出 渉
3-3 織田貴也・3-1 下出弘輔
女子ダブルス
3-3 高樋奈々・3-4 古野成美
3-1 巢山七海・3-4 重野朋子
男子シングルス
3-1 向井和樹、3-1 下牧 舜、
2-4 下出 渉、3-3 坪田知大
女子シングルス
3-4 古野成美、3-3 高樋奈々、
3-4 重野朋子



サッカー部

中信高等学校総合体育大会

1回戦 木曽青峰 3-0 穂高商業
2回戦 木曽青峰 0-6 都市大塩尻
全日本ユース (U-18) フットサル長野県大会
決勝戦
木曽青峰 4-2 筑北SC WELLNESS
準優勝



ハンドボール部

中信高等学校総合体育大会

男子 トーナメント戦
初戦
木曽青峰 15-17 松本美須ヶヶ丘
3位決定戦
木曽青峰 24-19 松本蟻ヶ崎
第3位
女子 リーグ戦
木曽青峰 24-18 松本蟻ヶ崎
木曽青峰 19-14 松本第一
優勝
長野県高等学校総合体育大会

男子
1回戦 木曽青峰 32-11 佐久平総合技術
2回戦 木曽青峰 13-21 上田
女子
1回戦 木曽青峰 18-11 茅野
2回戦 木曽青峰 11-28 上田



弓道部

中信高等学校総合体育大会

男子団体
木曽青峰 A
3-2 原 浩平 3-3 水澤温太
3-4 上原慎司 3-1 早川 匠
3-3 田尻春満 2-3 狭場 悠
40射22中 4位 県大会出場
木曽青峰 B
2-4 中桐海智 2-4 古坂悠貴
3-3 木戸智裕 2-3 小野聖泰
2-2 原 聖也 40射15中
女子団体
木曽青峰 A
3-1 原可奈子 3-2 矢澤柚衣
3-1 澤口瑠七 3-2 中村奈洋
3-1 鈴木花奈 3-4 青木 凜
2-3 諸原莉乃 8位タイ競射出場
男子個人
3-1 早川 匠
8射6中 8位タイ競射進出
女子個人
3-1 原可奈子
8射7中 県大会進出
長野県高等学校総合体育大会
個人予選
女子 3-1 原可奈子 8射3中
団体 男子
予選40射25中 (予選通過、ベスト8)
決勝トーナメント
1回戦 木曽青峰 20射6中
(対 上田千曲)

陸上部

中信高等学校総合体育大会

<男子>

- ・4×100mリレー 8位
3-1 大橋昌矢 3-1 降幡 昌
3-1 原 拓実 3-4 小坂正海
- ・4×400mリレー 2位
3-1 原 拓実 3-1 勝野耀太
3-4 小坂正海 2-2 古川晴貴
- ・400m 3-4 小坂正海 3位
- ・800m 2-2 古川晴貴 1位
- 3-1 勝野耀太 7位
- 2-2 古川晴貴 7位
- ・1500m 2-2 古川晴貴 7位
- ・400mH 3-1 中島拓朗 8位
- ・走幅跳 3-1 原 拓実 4位
- ・砲丸投 3-4 幸野藍斗 1位
- ・円盤投 3-4 幸野藍斗 4位

<女子>

- ・4×100mリレー 8位
3-1 木田村美央 2-1 栗空実穂
2-3 巾こと美 1-4 中村夢見子
- ・4×400mリレー 6位
3-1 木田村美央 3-2 関澤せいじゅ
3-3 古畑清華 1-4 中村夢見子
- ・400m 3-3 古畑清華 7位
- ・800m 3-3 古畑清華 5位
- ・走高跳 1-1 奥原夕奈 6位
- ・走幅跳 2-1 栗空実穂 7位
- ・三段跳 2-1 栗空実穂 6位
- ・砲丸投 2-3 巾こと美 2位
2-2 藤本優佳 4位
- ・円盤投 2-2 藤本優佳 7位
- ・ハンマー投 2-2 藤本優佳 4位
2-1 青島まど華 5位
- ・やり投 2-3 巾こと美 3位

上位8位までが県大会に出場
長野県高等学校総合体育大会

<男子>

- ・4×400mリレー 3位 北信越大会出場
3-1 原 拓実 3-1 勝野耀太
3-4 小坂正海 2-2 古川晴貴
- ・砲丸投 3-4 幸野藍斗 5位
- ・800m 2-2 古川晴貴 5位 北信越大会出場
- ・400m 3-4 小坂正海 8位
- ・走幅跳 3-1 原 拓実 8位

<女子>

- ・砲丸投 2-3 巾こと美 2位 北信越大会出場
2-2 藤本優佳 4位 北信越大会出場
- ・ハンマー投 2-2 藤本優佳 4位 北信越大会出場
2-1 青島まど華 8位
- ・やり投 2-3 巾こと美 7位

北信越高等学校体育大会

<男子>

- ・4×400mリレー 2'23"50 予選
3-1 原 拓実 3-1 勝野耀太
3-4 小坂正海 2-2 古川晴貴
- ・800m 2-2 古川晴貴
1'56"36 準決勝

<女子>

- ・砲丸投 2-3 巾こと美 10m91
2-2 藤本優佳 10m27
- ・ハンマー投 2-2 藤本優佳 33m07



ソフトテニス部

中信高等学校総合体育大会

<男子団体戦>

予選リーグ

- 木曾青峰 0-3 松本蟻ヶ崎
- 木曾青峰 0-3 大町岳陽

<女子団体戦>

予選リーグ

- 木曾青峰 0-3 塩尻志学館
 - 木曾青峰 0-3 南安曇農業
 - 木曾青峰 0-3 松本県ヶ丘
- <個人戦> (一勝以上)
- 1-1 若井太郎、1-2 菅田広太、
 - 2-4 坂田 爽、2-4 草刈仁貴

野球部

北信越地区高等学校野球長野県大会 中信予選会

- 木曾青峰 6-9 豊科
- 全国高等学校野球選手権長野大会**
木曾青峰 0-7 飯田風越

山岳同好会

長野県高等学校総合体育大会 飯縄山周辺 オブザーバー参加

定時制クラブ

バドミントン

中信高等学校総合体育大会 4年 赤堀友軌 出場

文化系クラブ

演劇部

公演 野田秀樹“赤鬼”

英語部

長野県高等学校文化連盟英語専門部
ENGLISH CAMP参加 (video部門)

軽音楽部

Power Live 2017 CN

(長野県高等学校文化連盟軽音楽専門部中中信大会)

審査員賞 (ベスト16) 受賞
木曾青峰Blast (プラスト)
2-3杉本亮子 (Ba)、2-3近藤祐斗 (Vo/Gt)、
2-4浅川真人 (Gt)、2-1四柳まゆ(Dr)
県大会へ



美術部

展示会 木曾路美術館

吹奏楽部

定期演奏会 (木曾文化公園文化ホール)
樽屋雅徳“星の王子様”他

特別クラブと授業

森林環境科

国際ウッドフェア 事例報告

3-3 百瀬夕唄 3-3 磯尾ちなみ
3-4 藤原壮早 3-4 児野 稜
“モノレール設置および赤外線カメラによる動物の生態系の調査等演習林学習活動の報告”

農業クラブ県大会 意見文

3-4 岡野花梨 “林業を懂れに”
最優秀賞 北信越大会へ
2-3 井領洸太 “木曾牛を全国に” 入賞

プロジェクト発表 II類

3-3 田尻春満 3-3 磯尾ちなみ
3-4 清岡 蓮 2-4 三浦海翔
“モノレール設置による演習林内の動物の生態系の変化” 入賞

プロジェクト発表 III類

3-3 大蔵竜盛 2-4 吉澤優哉
2-4 奥山ときは
“未来へ伝えよう木曾の農業と食文化～伝統野菜・作物の栽培研究の取り組み～” 入賞

クラブ活動発表

3-3 高樋奈々 3-3 松原かのん
3-4 畑 翔也 2-3 小野聖泰
“森と共に” 入賞

測量

2-3 藤田健司郎 2-3 近藤祐斗
2-3 古瀬 匠 入賞

インテリア科

手作り木製玩具寄贈 (卒業制作)

大桑保育園 北川玲里
名古屋市科学館
島津天音、鈴木萌水、松井幸歩、
上村李奈、田上沙依、古澤悠樹
工業クラブ・木材工芸
くらふていあ杜の市 (駒ヶ根市)
ペーパーコード
のツール
展示・販売



◀ろくろの里

家庭科

長野県牛乳普及協会 優良賞
3-3 大豆諒也 3-4 起 綾我



“木星とその衛星”
全日制天文部
定時制アウトドア部
松本蟻ヶ崎自然科学部
合同天体観測会より

担任の先生の紹介



生徒から見た担任の先生を紹介します。



↑ 1年3組担任
伊藤亮太先生

私たちの担任の先生は伊藤亮太先生です。伊藤先生はとても明るくて熱血先生で、すごく話しやすい先生です。時には楽しすぎて、話が成り立たないことがあるみたいです。これからも、先生とクラスみんなで楽しい学校生活を創り上げていきたいです！

2年3組は、国語のプロ教師、田中先生です。国語の授業は、優しい声に眠ってしまう人もいますが、すごく楽しくて、講座の生徒に大人気です。HRでは、生徒のやりたい事をできるように時間をとってくれて、何とか希望通りにしようとしてくれます。3組の事をすごく大切に育ててくれて、掃除の後は、いつも教卓に座って手に顎をおき温かい目で見守っていてくれます。誰からも慕われるマイペースで楽しい先生です。

↓ 2年3組担任 田中 宏先生



私たちの担任は奥原綾花先生です。奥原先生は、とても優しい先生です。授業中で分からない所や間違えた所は、ヒントや解き方を教えてくださり、私たちは自力で答えを見つけることができます。そのおかげで、自分で見直し、次は間違えないことができました。面談のときは、目を見て話を聞いてくれます。話してよかったなって思えます。私たちの担任の先生は、生徒にとって憧れの先生です。

1年2組担任 奥原綾花先生 ↓



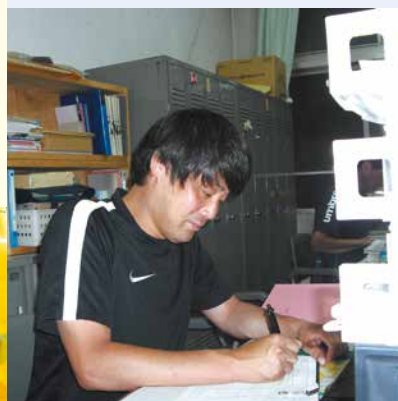
↑ 3年3組担任 柳瀬 元先生

私たち、3年3組の担任である柳瀬先生はとてもフレンドリーな先生です。男子、女子関係なく明るく接して、愛称などでも呼ばれています。しかし、校外授業のような場合は、生徒を第一に考え厳格な態度で注意や指導をするなど、先生の厳しさもしっかりと持っています。そんな柳瀬先生は3組の生徒に慕われています。先生と生徒だけでなく友人のようにもなれる柳瀬先生に、私たちは会えてよかったと思います。

私のクラスの担任の先生は、明るくてとても良い先生だと思います。私達の意見を大切に、活かしていこうとしてくれます。

保健体育の先生なので体育の時間は、私達を引っぱってしてくれる頼もしい先生です。

定時制1年担任
↓ 土手内頼道先生



私たち2年生の担任の篠原先生は、見たかんじは静かな先生のように見えます。本当はとても笑い、よく面白い事を言って笑わせてくれる先生です。英語の先生で詳しく分かりやすく教えてくれます。英語の授業はいつも楽しみです。

定時制2年担任
↓ 篠原 香先生



↑ 定時制4年担任
栢木 稔先生

私達4年生の担任の先生である栢木先生は、私達と同年度にこの木曾青峰高校に来ました。栢木先生はとても優しく良い先生だと私は思います。カレーが好きです。学校の行事で先生の車に乗せて貰う事が何度ありました。車の中には、大量のコイチの団扇がありココイチへの愛を感じました。



↑ 2年2組担任 小林浩之先生

2年2組の担任、小林浩之先生はテルマエ・ロマエに出ていると言われるほど顔が濃く高身長イケメン先生です。SHRではお子さんのお話をよくしてくれます。そのルックスからは想像できない程かなり重度のぼんずのうのパパです。小林先生は良き先生であり、そして家族思いな良きお父さんです。これから先生の頭を悩ませることも多くあると思いますが2年2組をよろしく願います(笑)



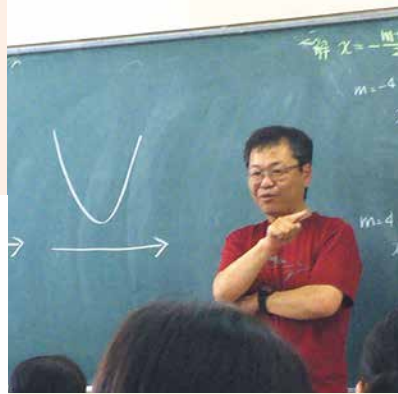


↑ 2年4組担任 高野善文先生

私たち2年4組の担任の先生は高野先生です。森林環境科の先生です。高野先生はとても真面目でやるときはやるで集中し、ふざける時はふざけます。自分たちもきりかえをしっかりとやることでだんだんまとまりができました。困った時にアドバイスをしてくれるので私たちは助かっています。

1年1組の担任の先生は下平哲也先生です。私たちには数学と情報の授業をさせていただきます。また、卓球部の顧問も担っています。趣味はきのこ採りや魚釣りをしているそうです。きのこ採りに関してはプロフェッショナルで教室にきのこ図鑑があります。先生は幅広い知識をお持ちでショートホームルームで様々なお話をしてください。授業中にとる行動も意外なほど面白いです。

↓ 1年1組担任 下平哲也先生



私たち3年2組の担任は、社会科の池田涼香先生です。池田先生は私たちが2年生へと進級する時から担任となりました。2組の生徒のことを自分の子のように思い、第一に考えて行動し愛情に溢れた指導をして下さい。先生は気さくで明るく負けず嫌いで熱い心を持っており、1人の先生としても、1人の人間としても頼りになる存在です。本当に良い先生だと感じています。

↓ 3年2組担任 池田涼香先生



↑ 2年1組担任 進藤秀樹先生

クラスの誰に聞いてもそう答えるのではないかとくらい、進藤先生は真面目で、そして生徒想いの先生です。いつも生徒のことを気にかけて、先生の方から話しかけてくださったり、僕たちの進路に関わる話は先生自身の経験も交えて話して下さったり、時々僕たち生徒を叱る時も僕たちの将来を見すえて叱って下さったり…。こんなにも生徒の将来を考えてくださる先生が担任で僕は本当に良かったと思っています。

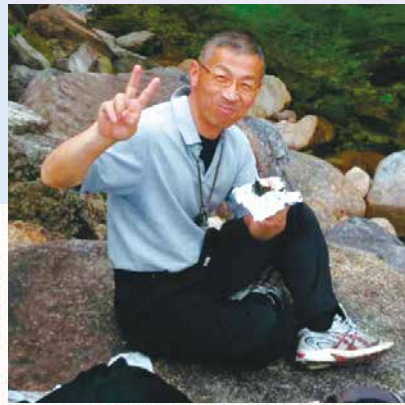
私たちの担任の百瀬先生を紹介します。先生はとても真面目な先生だと思えます。毎日、時間わりを言ってくれるし、一人一人にプリントを渡してくれるからです。

↓ 定時制3年担任 百瀬桑好先生



3年4組の担任、古畑先生です。とてもフレンドリーで生徒のことをよく考えている先生です。一人ひとりに対して隔たりなく接し、とことん付き合ってくれます。イベントや、進路活動などでも積極的にサポートをしてくれるので、とても助かっています。

↓ 3年4組担任 古畑良一先生



↑ 1年4組担任 久保田牧子先生

みなさんは1年4組の担任の久保田先生を知っているでしょうか？生徒や先生たちからは「まきりん」「ANGEL」と呼ばれている存在です！そんな久保田先生の良いところを紹介します。先生は、とてもフレンドリーで、信頼できる先生です。他にも良いところは、星の数ほどありますが、200字以内に収まりそうにないので、割愛させていただきます。

↑ 3年1組担任 向井健太郎先生

向井先生は数学の担当ですが、普段は進路室にいて、進路についての相談にのってくださいます。真面目で勉強一筋！のようなイメージがありますが、高校時代は俊足が武器の野球少年だったそうです。そしてクラスで向井先生のことをどう思っているか尋ねると、みんな口をそろえて「好き」と言います。生徒からよく慕われていて、3年1組のお父さんのような存在です。



創立十周年

私たちの木曾青峰高等学校は平成19(2007)年4月1日に「高等学校設置条例の一部を改正する条例」が施行され、発足しました。4月5日に開校式が行われました。今年は創立十周年となります。

木曾青峰高等学校創立十周年記念行事

記念式典

記念講演

千葉工業大学
未来ロボット技術研究センター所長
古田貴之 先生
“ロボット技術と未来社会”

9月29日(金) 13:30より

木曾青峰高校 大体育館

保護者・同窓生の皆さん ぜひおいでください。



古田貴之先生 紹介

学校長 横野秀昭

「14歳の時に脊髄の病気になる、一時的に車いす生活を余儀なくされました。その時、むくむくと生まれてきたアイデアが「脚がついた」車いす。自由に動きたい、という願い。それが今も僕の根本にあります。」(信濃毎日新聞山ろく清談より)

古田先生は、現在千葉工業大学未来ロボット技術研究センター所長で、自転車やショッピングカートなど目的に応じて変形する乗り物を開発しました。ロボット技術で衣食住を下支えし、あらゆる世代の動きたい、活躍したいという希望をサポートすべく研究を進めておられます。未来をつくるためには、知識を使う知恵や好奇心が重要と、子どもたちにロボット技術を楽しんでもらいたいと、色々なイベントも行っています。

AI(人工知能)の急速な進化とロボットの日常生活への普及が進む現代社会。われわれの近未来について多くの示唆をいただく予定です。

寄稿

十年一昔

インテリア科 三井勝人

平成21年度、校舎統合した時の1年生の担任を持たせていただきました。私たち担任団は結構な緊張感と心配がありました。第1期高校改革プランの中で、木曾高校と山林高校が統合に至る産みの苦しみがあつたと思います。また、進学を重んじる普通高校と実業の専門高校が校舎を共にすることの不安もあつたと思います。当時の西牧校長先生は、「求められるのは許容する心」と表現されました。一方、生徒たちは中学校・部活・友達といった繋がりもあってスムーズに溶け込んでいったように感じました。文化祭など生徒会活動もうまく作用したようです。

余談ですが、今話題の御嶽海関は最後の再開キャンパスの入学生で、再開キャンパスで1年間学びました。また、『大地の樹』の題字を揮毫した外戸さんは再開キャンパスで2年間学んでおり、御嶽海関の1年先輩になります。

あれから10年、第2期高校再編計画がスタートしました。木曾谷の少子化は深刻です。現在、蘇南高校と本校で6クラスありますが、このまま推移すると4クラスの時代が来ます。さらに減少は止まらない様相です。広い世界で活躍することは魅力的ですが、地域の活性化のためにも地元に残る人材、地元に戻る人材は貴重です。

定時制の歴史

定時制 教頭 藤澤由夏

全国的に定時制課程設置が始まったのは昭和23年のことです。この地でも同年木曾山林高校と木曾東高校に設置され、勤労学生が寸暇を惜しんで勉学に励む場として、多分野に優れた人材を輩出してきました。同27年、木曾東高に移管後は、分校(樺川・上松・大桑・読書の4地区)も置かれるようになります。しかし、同29年に樺川・上松・大桑の各分校が廃止となり、蘇南高校に読書分校のみが移管されます。同57年の木曾西高・木曾東高の統合では木曾高定時制課程が、平成19年の木曾高と木曾山林高の統合で、木曾青峰高定時制課程が誕生しました。このように、本校全日課程とは異なる経緯を経て今に至ります。

編集後記

今回PTA会報『大地の樹』第24号は委員の皆さん、先生方との話し合いの上、学校での生徒の様子、生徒目線から見た担任の先生のご紹介を特集いたしました。長野県木曾青峰高等学校は創立十周年を迎える大事な年度でもあります。そこで表紙には十年の歴史写真も折り込ませていただきました。何の写真か推察しながらご覧いただければと思います。写真提供いただきました皆様、原稿執筆を快くお引き受けいただきました皆様ありがとうございます。

起 靖子

編集担当 文化委員会

委員長

起 靖子

副委員長

小瀬木明子

櫻江 薫

鈴木 ゆり

相馬しず代

織田 智子

藤澤 由夏

栗山 和人

当時は振り返って

農林技師 正澤好成

開校十周年おめでとうございます。平成21年3月まで木曾山林高校に教諭として勤務し母校の歴史の幕引きを見届けました。創立までの経過をたどると感慨もひとしおです。当時、統合に当たり両校の統合委員は、両校それぞれの科の特色を活かし、両校の歴史と伝統を重んじ、郷土を愛し、地域の発展に貢献できる人材の育成を目指すことを根底に置き、木曾青峰高校の新しい歴史と伝統を築いていけるように願って統合を進めてきました。さらに、校名を検討するにあたり、当時「高等学校改革プラン」が他地区でも進み、新しい校名を「〇〇館」と付ける流れが続いていました。その流れから行くと統合高校の校名も「〇〇館」になるのではという憶測がある中で、「長野県木曾青峰高等学校」というまったく斬新な名称に決まった経過がありました。校名の由来は学校HPにあるのでそちらをご覧ください。

10年ひと昔といいますが、時は流れても変わっていない木曾青峰高校HPの御嶽山の写真があります。両校の統合委員会が作成したHPは、木曾を象徴する美しい山を表す「青峰」にあたり、御嶽山の写真を用いたと記憶しています。前任校の上伊那農業高校にいて、時々HPを開いて見てもその写真は当時のままでした。この写真は私が提供したキビオ峠から写した1枚(*)をトリミングしたもので、数ある御嶽山の写真の中の1枚です。冬になると新雪で雪化粧した御嶽山がきれいで、毎年新雪の積もる晴天の日にキビオ峠に行つて撮影しています。家の2階からも正面に見えるのですが、キビオ峠ではより雄大に見ることができ、乗鞍岳と前穂高岳も望める私のお気に入りの場所でもあります。

つたない記憶を思い出しながら書いてきました。纏まりのない文になってしまいましたが、木曾青峰高校の今後のますますの発展を祈願します。



※使用した元写真